

STREVO 2

OSAKA Street Artists CATALOG

Lyrics No.3

※無断転用、無断使用は堅くお断りします。

11. 『White Memories』 百万BARIKI

作詞：大上 正晃・NOBUAKI 作曲：大上 正晃 編曲：今川 瞬

☆想い出も そう 雪のようにとけてしまったかい？
逢いたいよ また 想い出が肩に降り積もる はらえない雪がまだ。。。

今年もまた 降りだした雪 襟を立て吹きつけた吐息
ポケットの中つないでた手の ぬくもりに変わるはずもなく
I will remember for you forever.
イルミネーション鮮やかな街 繰り返すただ繰り返す
負けないくらい賑やかな人 つくり笑顔でやり過ごす

君はどこで誰とこの季節を。。。

☆繰り返し

幸せそうな恋人達 足早にすれちがって消える
転ばないか心配してた 転んだのは僕の方だね
I will remember for you forever.
しんと降りる雪の中で そう歩き出せない僕がいる
ほどけた靴ひも 気付いても かじかんだ手 結ばずに

君はどこで誰と この季節を。。。

君の名前を 刻んだ胸のまんなかで
白い天使が せつなさ かきたてて踊る はらえない雪がまだ。。。

[毎日の暮らし そして歯ブラシ 記憶をずらし 愛し悲し]
[日々のキュウクツ そしてタイクツ 時は歳末 とても辛辣 (しんらつ)]
[飯を買いに そしてふいに 君の愛に 会いに行きたい]
[仕事終えて シーツ替えて 目だけさえて ひとりなえて]

☆繰り返し

Everything was covered with snow as far as I could see.
Everything was covered with snow as far as I could see.
溶かせない雪がまだ。。。 想い出は僕のまま。。。

12. 『ハトとマジシャン』 少年同盟

作詞：二階堂 智規・T&R 作曲：二階堂 智規 編曲：S&R

それは一人のマジシャンの話 テーブルマジックでまずはテーブルを消した
毎晩屋台で夢と野望を語る 偉大なマジックで世界征服を！

『屋台にて』

生まれた町は「関西のラスベガス」
生まれてすぐに母の姿を消した
マジシャンだから財布の必要はない
コインはいつでも手のひらから出せます

『ポッポマートにて』

結局8枚たらずに 納豆のパックをひとつ あきらめた

ある日彼はテレビに出演 テレビカメラがとても気になります
あれじゃ手品のタネ丸見えじゃん そして彼はすぐにテレビカメラを消しました

ママママママママまーいいじゃん 「NO！」

お礼を見たら ついつい破ってしまう
女性を見たら箱に入れサーベルを刺してしまう
試着室では内ポケットに鳩を 入れてみる
スプーンを見ると 思わず曲げてしまう

『別のポッポマートにて』

スプーン曲がらず 信念は曲げる そして時々へそも 曲げる

ある日 年老いた鳩が 胸のポケットで 永いねむりにつきました
それに気付いた彼は
「今日はこのポケットから平和の白い羽を無限に出しましょう～！」

いつか君も見ると それは心を動かす彼のマジック
皆に笑顔を与え 一人一人を幸せにする マジシャンは焼鳥屋

13. 『なないろドロップ』 友梨香

作詞：gumi・友梨香 作曲：友梨香 編曲：今川 瞬

今だけ少しだけ この場所で うずくまるあたしを許して
気付かないなんて バカみたい 力こめすぎて

壊してしまった あなたのやわらかな笑顔を
あたしもやわらかな気持ちで 守っていくべきだったのよ

笑って黄色 怒って紫 愛が溢れていた桃色
二人で数えた なないろドロップ 冷たい缶は
今はからっぽ 最後のハッパが胸をさす

今だけ少しだけ ぼんやりと 立ち止まるあたしを許して
忘れられないよ バカみたい 強く刻みこんで

消えないでいるの あなたのてのひらのあたかかさ
あたしがしなやかな気持ちで 包んでいくべきだったのに

ふざけた緑 憂鬱な藍色 すべて見失うほどの赤
二人で集めた なないろドロップ 冷たい缶は
今はからっぽ フタすらどこかへいってしまった

うつむくあたしの 瞳から次々とこぼれる
ドロップがあの日思い出さずこめて
このつまさを 濡らしていく

笑って黄色 怒って紫 愛が溢れていた桃色
二人で見つけた なないろドロップ まだどの奥は甘いよ
ふざけた緑 憂鬱な藍色 すべて見失うほどの赤
あたしがこぼした なないろドロップ 拾い集めて
フタをして 明日は きっと・・・新しい色になる

14. 『childish』 良(Ryo)

作詞：良(Ryo) 作曲：良(Ryo) 編曲：鳥井 一広

訳もなく不安な夜の季節 あなたさえいればと思う稚拙
あの日のあなたの声 僕は知ってるのに
心しめつけられそうな季節 あなたのせいと思うなら稚拙
気まぐれに十字架を 押しつけ合うようだ

childish おさないあなたとのコトをまだ 許せない僕もまた
childish それでもあふれてく思い出で 道標はつからない

深夜のTVが消せない季節 もしかしたらなんて思う稚拙
勇気の場所がわからずに 立て続けの煙草
ぬくもりだけで瞳を閉じる季節 言い訳を探すばかりで稚拙
もう知らない別の朝 数え切れないのに

childish おさないあなたとのコトをまだ 許せない僕もまた
childish それでもあふれてく思い出で 道標はつからない

hm.今夜だけ hm.眠らせて 明日からつかみとる
僕のしあわせに あなたのしあわせ負けないで

childish おさないあなたとのコトをまだ 許せない僕もまた
childish それでもあふれてく思い出で 道標はつからない

15. 『笑いじわ』 哲生

作詞：哲生・NOBUAKI 作曲：哲生 編曲：今川 瞬

歳をとって 白髪になって いつか一日あとにいく
君の手をとり見守って 添い寝をするみたいに

Baby 僕は君にふれていたい
Baby いつも笑わせよう
Baby 君の顔いっぱい 笑いじわができますように

歳をとって 白髪になって やわらかい手をつなぎ話そう
君の望んだものは手に入ったかい
僕の望むものはこの手の中にあるよ

Baby ずっと君でよかった
Baby かならず僕が言うから
Baby 君は顔いっぱいの 笑いじわでこたえておくれ

朝昼夜春夏秋冬くりかえし
ひとつひとつ ふたりが味わい深くなる

Baby そんなふたりになるよ
Baby ずっとふたりでいよう
Baby 君の顔いっぱい 笑いじわができますように
負けないくらい僕の笑顔で